

多焦点眼内レンズを用いた 白内障手術（水晶体再建術）



選定療養制度とは、

2020年4月より、選定療養制度を用いて、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術が、可能になりました。

選定療養制度では、保険適応の治療(白内障手術)と保険外治療(多焦点眼内レンズ費用)を併せて受けることができます。

今までの「先進医療」という制度では、多焦点眼内レンズの費用以外の部分である、白内障の手術自体も保険適応外となり、全額自費(もしくは、先進医療特約保険に入られている方は保険会社から給付)でした。選定療養制度では、白内障手術自体は通常の単焦点眼内レンズと変わらず保険適応、多焦点眼内レンズを選択することで増える費用についてのみ、自費で追加費用をお支払いいただく制度です。

「多焦点眼内レンズを用いた白内障手術」の費用

従来の費用

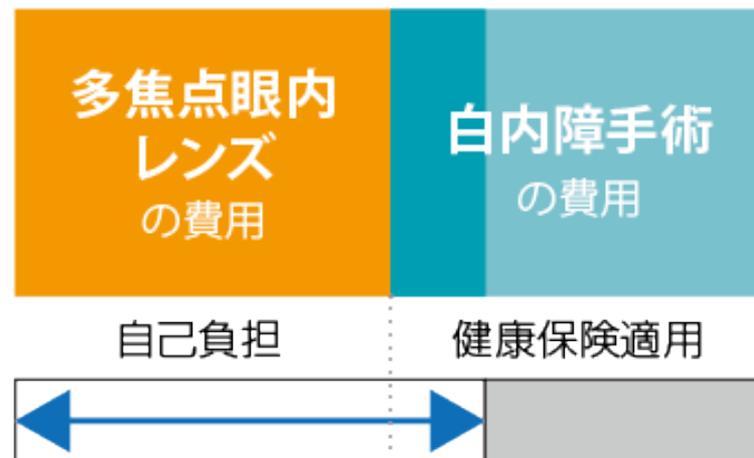


全額自己負担



当院 一律 40万円
(2020年3月まで)

現在の費用(選定療養対象)

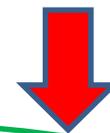


自己負担部分

保険適用部分



15~25万円
(レンズの種類別)



1.4~4.1万円
(保健割合別)

特徴(比較)

単焦点眼内レンズ

多焦点眼内レンズ

長所

解像度、コントラスト感度に優れている。

眼鏡ナシで、遠くも近くもある程度よく見える。

欠点

ピントの合う範囲が狭いため、見る対象の距離によって眼鏡の併用が必要。

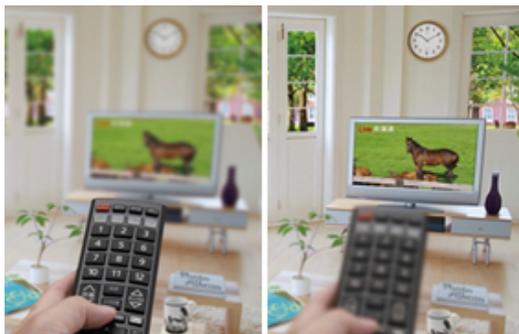
単焦点眼内レンズに比べてコントラスト感度や解像度が劣り、ハローやグレアを感じやすい傾向がある。

費用

健康保険適応

健康保険適応外

見え方



近くは見えるが
遠くは見えない!

遠くは見えるが
近くは見えない!

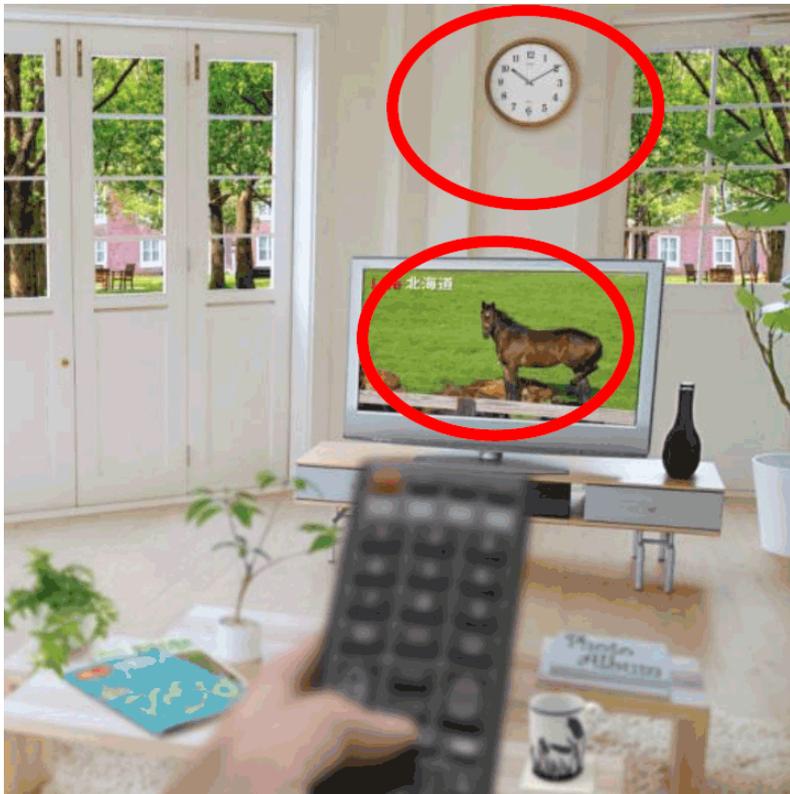


遠くも近くも良く見える!

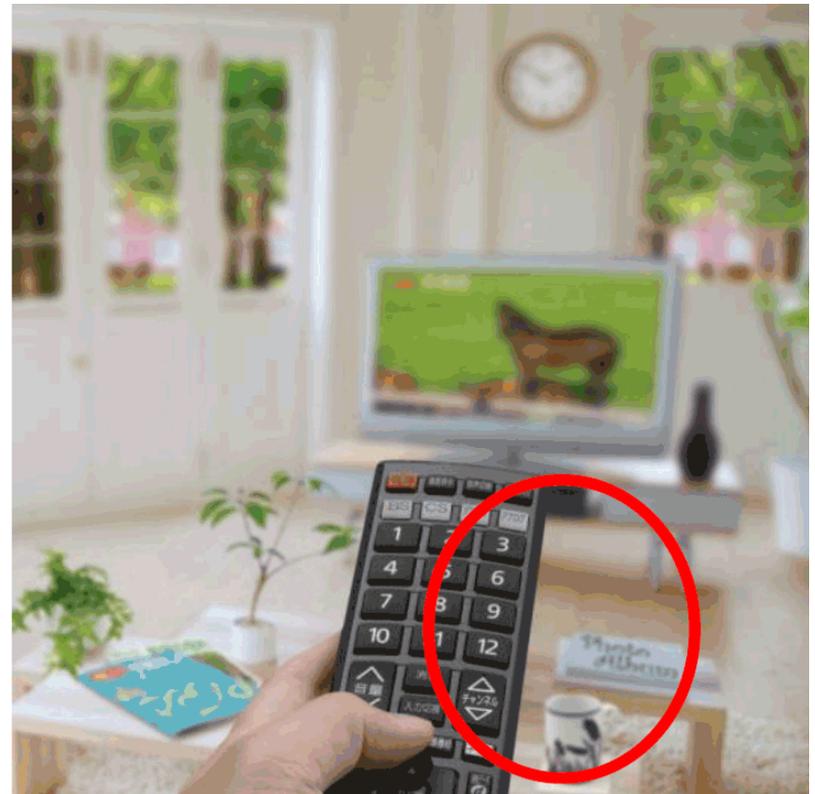
眼鏡が必要

見え方の違い例（単焦点レンズの場合）

※遠くがよく見えるように合わせたイメージ



※近くがよく見えるように合わせたイメージ



見え方の違い例

単焦点眼内レンズ(遠方時)



多焦点眼内レンズ



レンズ選択のイメージ

単焦点レンズ(近方 選択)



単焦点レンズ(遠方 選択)



単焦点レンズ(中間 選択)



多焦点レンズ(例)



運転



スポーツ



テレビ



掃除



料理



食事



ピアノ



パソコン



新聞



スマートフォン



化粧



読書



裁縫



散歩



買い物



30cm 40cm 50cm 70cm 1m 2m 5m~

見え方の違い例（夜間運転時）

単焦点眼内レンズ(遠方時)

多焦点眼内レンズ



強い光を見た場合に、光を眩しく感じる事(グレア現象)や光の周囲に輪っかが見える事(ハロー現象)が起こることがあります。

上記現象が単焦点眼内レンズと比して、多焦点眼内レンズで起こりやすいと報告されております。個人差はありますが、手術後の時間経過とともに慣れてくると言われております。

ハロー現象 イメージ



グレア現象 イメージ



多焦点レンズの種類

	テクニス マルチ Tecnis Multifocal	シンフォ ニー Tecnis Symfony	パンオプ ティクス PanOptix	シナジー Tecnis Synergy	ファイン ビジョン FineVision	レンティス Lentis
外 観 イメージ						
種別	回折型	エシレット 回折型	回折型	エシレット 回折型	回折型	分節状屈 折型
焦点数 または 焦点深度	2	焦点深度 型	3	連続焦点 型	3	2
近くの 焦点距離	30cm 40cm 50cm	70cm	40cm / 60cm	35cm	30cm / 60cm	40cm
乱視矯正	不可	可	可	可	可	可
選定療養	○	○	○	○	×	×

当院採用多焦点レンズ



ジョンソン&ジョンソン社 エシュレット回折型多焦点眼内レンズ (シンフォニー)

レンズ代金 15 万円(税別)

乱視用レンズ代金18万円(税別)

焦点深度拡張型(Extended Depth of Focus:EDOF)と呼ばれるタイプの多焦点眼内レンズです。

遠方から中間距離(60~70cm)の見え方に優れ、乱視に強いレンズです。

多焦点レンズの弱点であるハロー・グレアが軽減され、見え方の質が向上しましたが、その分近方の視力が弱くなります。読書が趣味など近方を重視される方には適応しにくい可能性はあります。

色ムラの少ないきれいな見え方とされています。

現代社会で多用する中間距離視力の落ち込みや低照度条件下(夜間など)でのコントラストの低下が少なく、従来の多焦点眼内レンズに対しての不満が少ないレンズです。



アルコン社
回折型多焦点眼内レンズ
(パンオプティクス)

レンズ代金 25 万円(税別)

乱視用レンズ代金28万円(税別)

2019年国内承認された初めての3焦点レンズです。

遠方・中間(60cm)・近方(40cm)の3カ所にピントが合うように設計されています。

眼鏡に頼る頻度(近方)は、比較的少ないです。

利用可能な光(映像)を3方向に配分するので、EDOFレンズ(シンフォニー・シナジー)と比べると コントラスト(=くっきり感)の低下があります。

1メートル辺りの中間視力の落ち込みがあると言われています。



ジョンソン&ジョンソン社 エシユレット回折型多焦点眼内レンズ (シナジー)

レンズ代金 25 万円(税別)

乱視用レンズ代金28万円(税別)

連続焦点型(2焦点+EDOF)と呼ばれると最新の多焦点眼内レンズです

遠方から手元まで広い明視力域を持ち、連続的に良好な視力になります。

眼鏡に頼る頻度が最も低いです。近くの見え方を重視する方に適します。

近方の見え方が優れるため、ハロー・グレアが比較的多いとの報告もあります。

色ムラの少ないきれいな見え方(色収差の低減)と言われています。

明るい場所、暗い場所など場面を問わず比較的高いコントラストを保ちます。



ジョンソン&ジョンソン社 回折型多焦点眼内レンズ (テクニスマルチフォーカル)

レンズ代金 15 万円(税別)

乱視用レンズなし

遠くと近くに焦点が合うよう設計された 2焦点眼内レンズです。

近見視の加入度数のバリエーションがあり、近方視力を30cmが焦点中心となる加入度数(+4D)、40cmが焦点中心となる加入度数(+3.25D)、さらには50cmが焦点中心となる加入度数(+2.75D)を選択することができます。

近見視力を重視する方に適しています。

コントラストの低下(=くっきり感)の低下が強いこと、中間視力の落ち込みが大きいこと、ハロー・グレアが強いことが、デメリットです。

<多焦点眼内レンズを用いた白内障手術>に関する注意点<

多焦点眼内レンズは、20～30歳代の目に戻るわけではありません。

眼鏡使用頻度を少なく、眼鏡依存度を低くするものをご理解ください。

多焦点眼内レンズは患者側の期待度が非常に高い反面、どの方も適性がある訳ではなく、またレンズにもそれぞれ特性があり、すべての方に100%の満足を得られるような多焦点眼内レンズは、この世の中には存在しません。

屈折誤差・乱視について

眼軸長(目の長さ)、角膜曲率半径(角膜のカーブ)を基に眼内レンズの度数を決定します。

眼軸長も角膜曲率半径も機械でヒトの目を測定するものであり、測定誤差があります。そのため、当院では、出来るだけ測定誤差を小さくするように努めています。それでも、術後に正視ではなく、軽い近視や遠視が生じたり、術後に乱視が生じることがあります。

ただし、その場合でも、薄い単焦点(乱視)のメガネを使用して頂くだけで遠方・近方のどちらも見えやすくなります。

多焦点眼内レンズの欠点であり特徴でもあるのですが、コントラスト感度が通常の眼内レンズに比べて落ちます。つまり、通常の眼内レンズよりピントが少しあまくなり、ややにじんで見える感じですが、また、複数の焦点が合うため単焦点レンズに比べると、暗所で光が散乱して光の周辺に輪が架かって見える現象を自覚したり、夜間も光がにじんで見えたりしますので夜間に運転する方には不向きです
(グレア・ハロー現象)。

多焦点眼内レンズを希望された方でも、眼の状態の診断結果によっては、ご希望に添えない場合もあります。

詳細は、医師に相談をし、十分にご理解頂いたうえで手術をお受け下さい。